

一人一台端末利活用促進に向けたオンライン学習会

町を挙げて取り組む GIGA端末の活用とその工夫

熊本県高森町教育委員会
教育長 古庄 泰則

熊本県高森町の概要



- 位置

九州の中央部 熊本県最東端

- 人口

6, 000人

- 学校

高森中央小学校（233名）

高森中学校（141名）

高森東学園義務教育学校（45名）



説明の流れ

1. 高森町の教育
2. 高森町の端末活用の実際
3. 教育DXの推進

1 高森町の教育

三位一体(行政・教育委員会・学校)の情報化推進

草村 大成町長のマニフェスト(4期13年目)

- 誇りと夢と元気を生み出す教育による「町づくり」
- 21世紀を生き抜く高森の人材育成と国際化・情報化・少子化への対応

教育委員会の教育戦略

1 教育は人なり

〈風を興す〉

- (1) 教職員ファースト(教育研究会の活性化)
- (2) 「高森の先生たちが風を興している」

2 確かな教育ビジョン

〈風を読む〉

- (1) **高森町新教育プラン(平成24年3月～)**
- (2) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育、ICTの位置付け

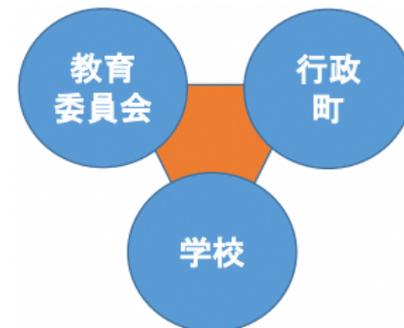
3 ビジョンの共有

〈風に乗る〉

- (1) 町を挙げての教育改革
- (2) 町長の施策に乗る。議会の支援を得る



草村町長



確かな教育ビジョンについて

「第4次・高森町新教育プラン」の推進

(平成24年4月策定：27年4月、31年4月、令和5年4月改訂)

高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育

<重点施策>

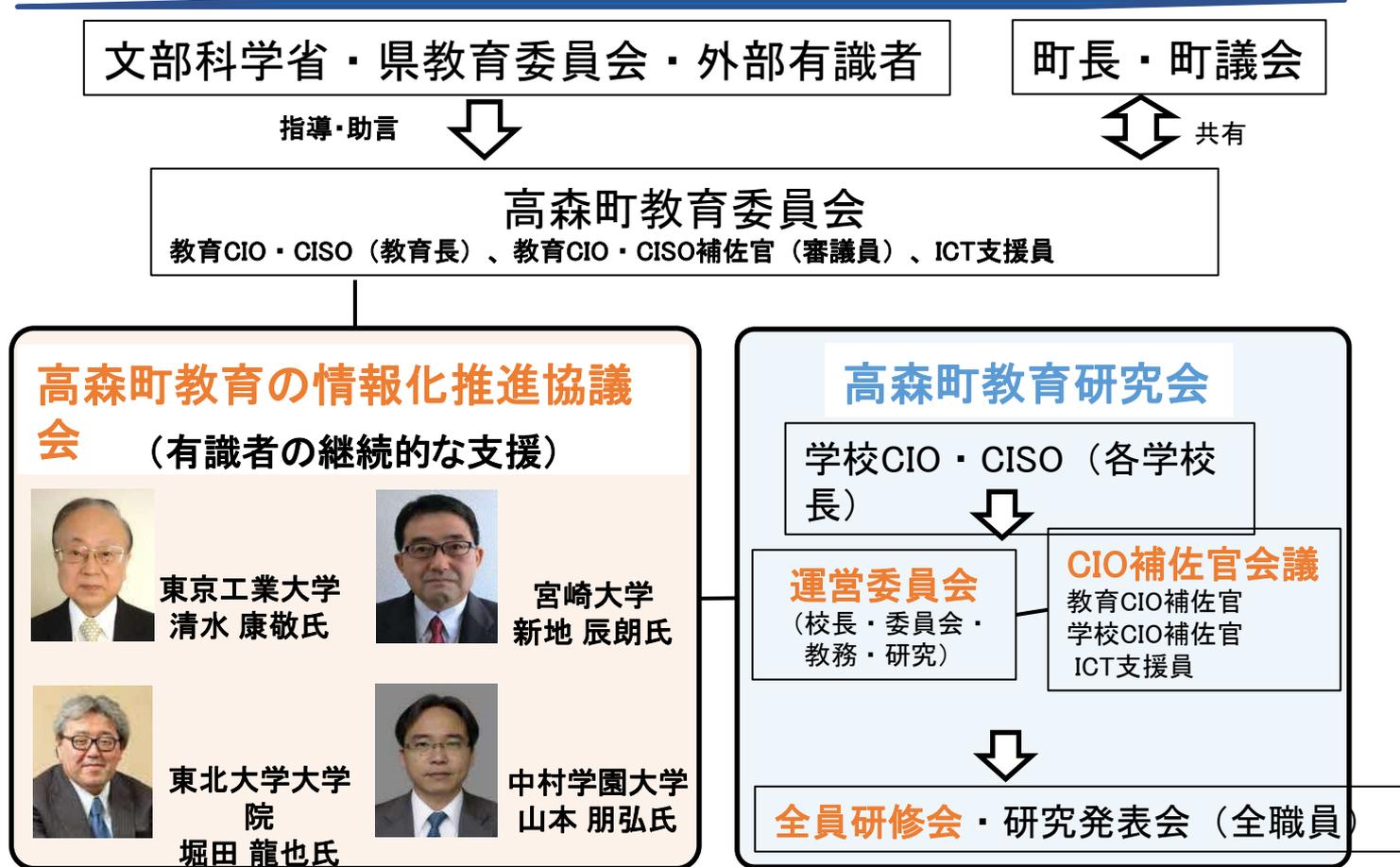
コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育

<ねらい>

- 1 高森の子ども達に「**確かな学力**」と「**豊かな心**」を醸成する。
- 2 高森の地域性を生かした「**地域とともにある学校づくり**」を推進する。
- 3 高森町行政と連携した「**教育環境の整備**」を推進する。
- 4 高森町教職員の資質を高める「**高森町教育研究会の活性化**」を図る。

教育DXを推進するための組織・体制

※平成26年度から学校のICT化を推進するリーダーとしてCIO制度を導入



国・県・企業と連携した教育DX推進

	国	県	企業
H24			DIS(ダイワボウ情報システム) スクール・イノベーション・プロジェクト タブレット端末の無償提供（町内120台）
H25		県教育委員会 ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト推進事業	
H26			
H27	文部科学省 人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業		
H28			
H29			町・県教育委員会・インテル連携協定 新たな学力観への対応、21世紀型スキルの育成、小・中・高校の連携
H30	文部科学省 遠隔教育システム導入実証研究事業	総務省 地域におけるIOT実装に関する事業	
R1			町・コアミックス連携協定 エンタメ業界と連携した町づくり くまもと国際マンガCAMP、マンガアカデミー
R2	文部科学省 遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証研究事業		町・町教委・熊日新聞社連携協定 タブレット図書館(電子書籍や記事の子ども向け提供)
R3		県教育委員会 くまもとGIGAスクールプロジェクトモデル地域	
			町・県教育委員会・高森高校・コアミックス連携協定 エンタメ業界と連携した町づくり、県立高森高校の魅力向上（マンガ学科設置）
R4			町・教育委員会・熊本朝日放送連携協定 授業連携、コンテンツ活用

2 高森町の端末活用の実際

高森町の研究の流れ

◎H24～「教育の情報化」研究 授業過程における教師の効果的な活用

課題解決型学習モデル = 1 単位時間における教師の指導モデル
(たかもり学習) 学び方のモデルとして児童生徒にも浸透

◎R元～「新たな学び」研究 1人1台端末とクラウドサービス (H30)

学習者主体の学び、教室の枠を超えた学び、授業と家庭学習の連動
・ガイド学習 ・端末持ち帰り ・遠隔教育

◎R4～「自立した学習者」研究 児童生徒の効果的な活用

(仮称)自立した学習者の探究型学習モデル = 学習者主体の学びモデル
・社会に開かれた教育課程 ・教科等横断的な学び ・異学年合同の学び合い

* 教職員の働き方改革



教育DXの推進

高森町の研究の全体構想

高森町新教育プラン： 確かな学力と豊かな心を身につけた高森の子どもの育成



高森町の研究主題
自立した学習者の育成
～サブテーマは各学校の特色を生かして設定～

自立した学習者に必要と考える資質・能力

- | | | |
|---------------------------|------------------|------------------------|
| ①自ら課題を設定し、解決への過程や方法を決定する力 | ②他者と協働して課題を解決する力 | ③自らの学びの状況を把握し、学びを調整する力 |
|---------------------------|------------------|------------------------|

各教科・領域で育む資質・能力

学びの基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）



児童生徒による効果的な端末活用

これまで町で積み上げてきた実践をベースに、各学校の強みを生かし、主題にせまる研究を推進

リーディングDXスクール事業

【取組①】高森町で過去数年間にわたって取り組んできた内容

1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践の創出・モデル化

本事業で取り組む主な内容

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ② 動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業
- ③ 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等
- ④ 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修
- ⑤ 実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

【取組①-2】重点的取組

研究テーマ

自立した学習者の育成 ～DX×確かな学力を育む生徒主体の学びの展開を通して～

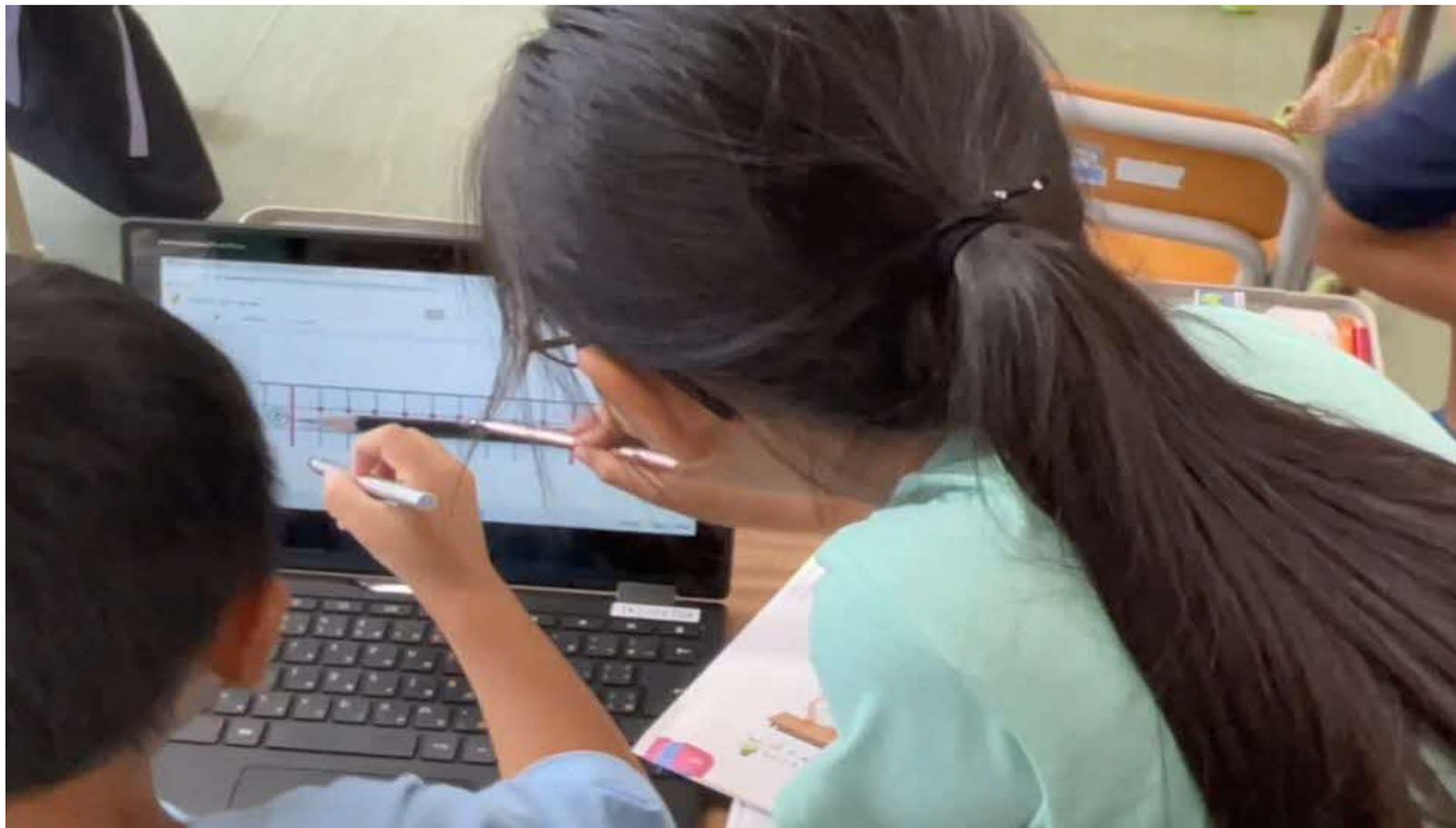
○「自立した学習者の探求型学習モデル」の研究

○英語教育の更なる充実～オンライン英語プログラムの導入～

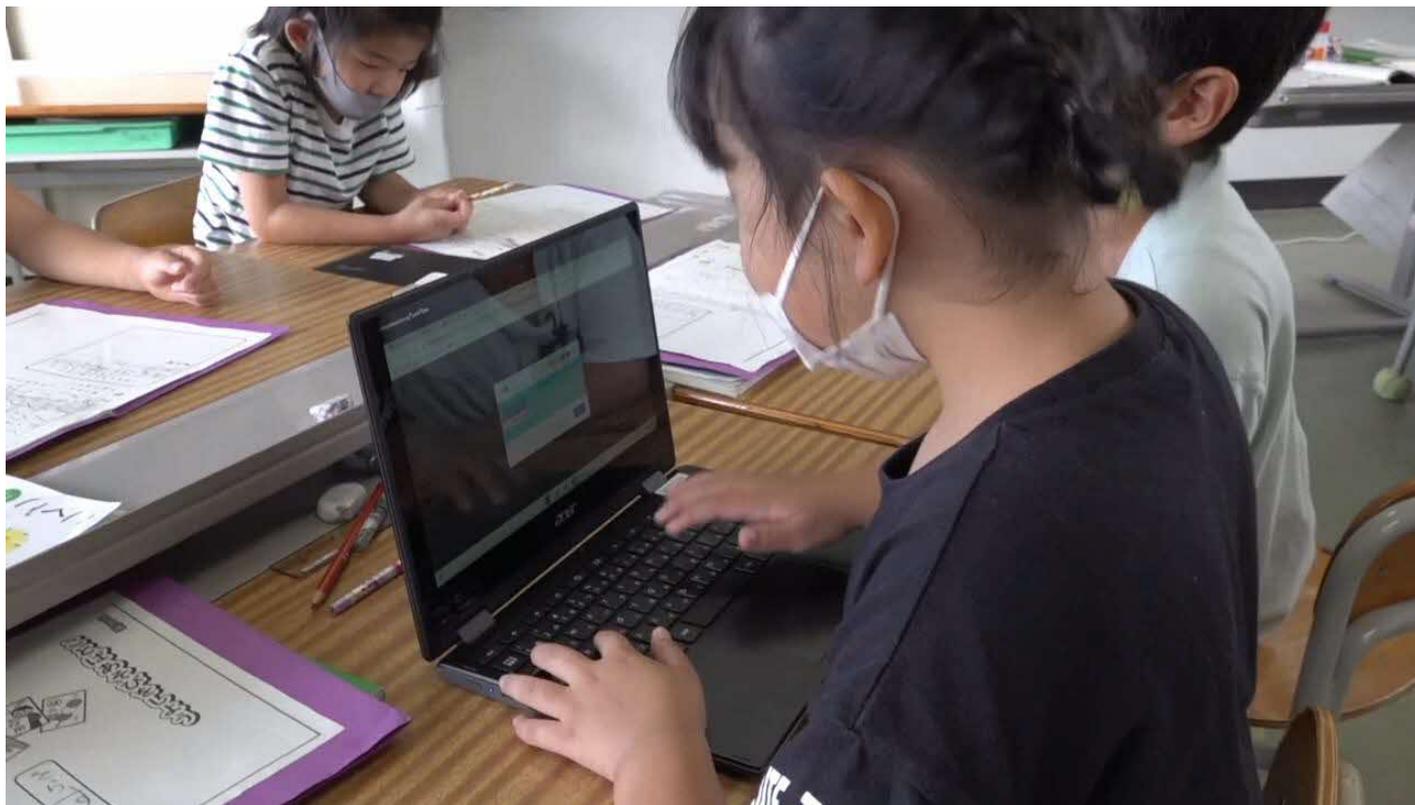
【取組②】学校DX推進コーディネーターの配置

有識者による指導・助言、教育DX推進の人材育成

【実践事例①】 デジタルワークシートで児童の交流を促進（1年算数）



【実践事例②】 デジタル付箋紙で意見を共有（2年国語）



低学年のときから、クラウドやデジタルワークシートを日常的に活用し、意見の交流や学びの蓄積をしている

【実践事例③】 学びを選択・調整する力を育むガイド学習（6年社会）



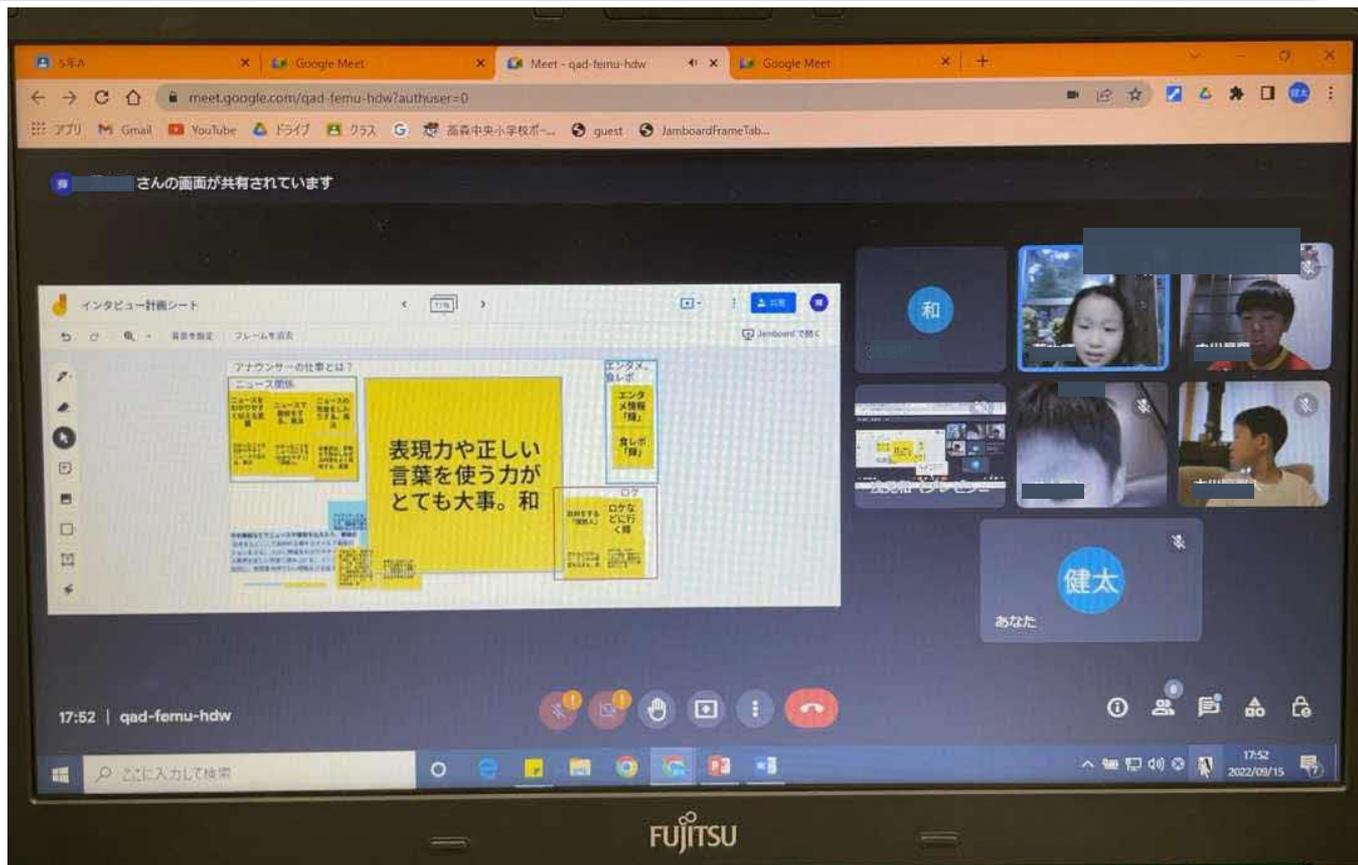
事前に家庭で調べてきたことを交流し、本時で達成したいめあてを設定する。

【実践事例④】 学びを選択・調整する力を育むガイド学習（6年社会）



めあての達成に向けて何をするのか、どのくらい時間をかけるのか、自分達で計画を立てる。

【実践事例⑥】授業と家庭学習を連動させる端末持ち帰り学習



自分たちで時間を設定して、家庭での話し合い（5年 国語）

【実践事例⑦】義務教育学校の特長を生かした異学年合同授業



上級生の姿をとおして、自ら課題を設定し、解決への過程や方法を決定する力が育つ
【5年生～8年生 高森ふるさと学（総合的な学習の時間）】

【実践事例⑧】 「教え育てる」から「学び育つへ」（中3音楽）



文部科学省 高森中学校視察

【実践事例⑨】クラウド活用による教師のICT活用指導力向上や働き方改革

ドライブ

ドライブで検索

新規

候補

マイドライブ

共有ドライブ

共有アイテム

最近使用したアイテム

種類 ユーザー 最終更新

名前 ↑

第12回校内研修 レジюме.pdf 2023/09/28 10:05 1.7 KB

連絡事項はコメント機能を活用し、リアルタイムで共有化を図る。

クラウドにレジюме（校内研修や職員会議等）をPDF形式でアップロードし、会議資料のペーパーレス化を図っている。

職員会議や校内研修の際に必要な資料はクラウド上にアップロードし、リンクを貼って閲覧できるようにしておく。

第12回 校内研修(事前研:学年部)

校内研修担当

場所:職員室
持参物:筆記用具、校務用PC

- 連絡 15:50~
- 校長先生より 15:55~
- 中研について 16:00~
○授業の見どころ・研究の視点
○今後の日程等
- 事前研 16:10~
○授業者決定(第1回:10/2~4、第2回:10/30~11/1、第3回:12/4)
○授業構想(授業の見どころ・研究の視点)

1年部	2年部	3年部
1年2組教室	2年1組教室	3年1組教室

※ 学年ごとに終了

人権作文集「地鳴」について
期日が11月30日に関係者が集まって添削するので例年より早め（10月末までに内容や保護者への連絡を）の準備を

人事評価について
業績評価と能力評価の自己評価（上期）と目標設定（下期）
△切は来週一杯

- ・秋の交通安全週間について
- ・中央小について
- ・代休申請について

【実践事例⑪】 高森町タブレット図書館

高森町・高森町教育委員会・熊本日日新聞社連携協定(R2.1.10)



アナログとデジタルの主体的な選択・活用

学校教育での活用

年間約10,000件の閲覧数

○学校と家庭の両方で活用

- ・ 読書週間（毎月実施）や朝読書
- ・ 休み時間（自由読書として）
- ・ 授業時間（主に調べ学習）
- ・ 家庭での自由読書や調べ学習

住民向け活用



令和5年7月
高森町タブレット図書館事業開始
小学生以上の全町民にアカウント配布



3 教育DXの推進

「第4次・高森町新教育プラン」における新たな施策

学びのDXの推進

- 自立した学習者の育成
- 外部専門機関との連携
- 「CLILオンライン英語プログラム」の導入

多様性への対応

- 公設民営型「高森町教育支援センター」の設置・機能拡充
- 高森町タブレット図書館の展開

教職員の働き方改革

- ICT支援員各校一人配置
- 校務のDX化

教育DXの推進

～誰一人取り残さない令和の日本型学校教育～
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～